

KBC TIMES

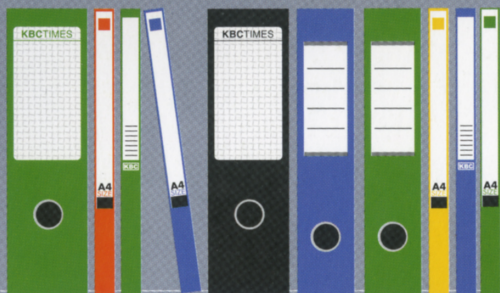
Vol.64



□ KBCインタビュー

“大根のツマ”
から始まる農業の再建

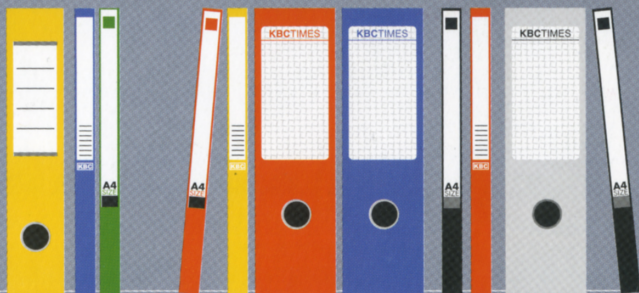
わかば農園 株式会社
代表取締役
三浦 茂雄氏



東海逸品カタログ

レター提灯

株式会社 オゼキ

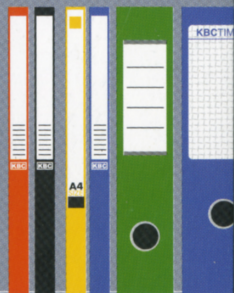


特集 Report① …P.7

モチベーションマネジメントの基本

特集 Report② …P.25

格言・名言に学ぶ経営への活かし方 ～ビジネスにおける経営者の挑戦～



おすすめ
セミナー

KBCセミナー

「行動心理から学ぶ！ 営業マン意識改革&行動改革セミナー」

- 講 師：株式会社アタックス・セールス・アソシエイツ
横山 信弘氏
- 日 時：2010年8月19日(木) 13:00~17:00
- 参加費：10,000円(一般：20,000円)
- 定 員：50名
- 会 場：共立総合研究所 セミナールーム

お申し込み・お問い合わせは
共立ビジネスクラブ事務局までお願いいたします。

★ 共立総合研究所

KBC TIMES

KBC 共立ビジネスクラブ

大垣共立銀行グループ
株式会社 共立総合研究所

〒503-0887 大垣市郭町2丁目25番地 Kixビル4F

☎0120-39-2677

TEL.0584-74-2322 FAX.0584-74-2688

Homepage Address <http://www.okb-kri.jp/>

E-mail Address info@okb-kri.jp



[発行 2010.5]

(禁無断転載・複写)



岐阜県内で活動する
特定非営利活動法人(以下、NPO法人)をご紹介します

かけがえのない 地球の未来のために

NPO法人 WITH

フィリピンで マングローブの苗を植樹

NPO法人WITH(以下「WITH」)は、自然破壊が招く災害によって世界各地で多くの犠牲者が出ている現状を見て、「自分にできることから始めたい」という思いを抱いた人々が集ってできた団体です。活動内容はアジア諸国にマングローブの植樹を行うことが中心で、毎年、フィリピンのカパロンガ・ネグロス島へ赴いています。現地の住民や日本の大学生ボランティアとともに



現地の大学生とマングローブの植樹活動風景(ネグロス島にて)

に活動を行ってきた結果、2007年の発足から約3年間で、約6万本の苗を植えることができました。

マングローブは、二酸化炭素を吸って酸素を出したり、海岸を守ったり、水や土をきれいにしたりする効果が高いといわれていることから、魚たちの住処となる豊かな海の生態系バランスを守る「命のゆりかご」と呼ばれています。植樹しても半分以上が台風等で流されてしまうほどの小さな苗。しかしそこに込められた思いは大きく、苗1本1本がしっかりと地に根付き、緑豊かに成長していくことを切に願っています。

持ち込んだ物資(服)を子どもたちが選んでいる様子
(2009年カパロンガにて)



子どもたちの笑顔を もっと輝かせたい

「WITH」では、植樹活動から派生する文化交流の一環として、衣服や文具等の物資支援も行っています。2009年には、フィリピンの小学生や大学生に合計約587kgの物資支援を行うことができました。これが実現できたのも、「WITH」の趣旨に賛同していただいた岐阜県内の幼稚園や学校、企業、県外の方々からの心温かい援助があったおかげです。

例えば家を1棟建てるごとに100本のマングローブを植樹したり、衣料品の売上の一部を「WITH」を通してカーボンオフセットに充てたりという取り組みをしている企業もあります。

勉強したくても学校に通えない、履く靴もないフィリピンの子どもたち。そんな子どもたちに衣服やボールを渡すと、満面の笑みを浮かべながらお礼を言ってくれます。「WITH」のメンバーたちは、その素敵な笑顔から元気と勇気もらっています。

「WITH」は、豊かな国に住む日本人には想像がつかないほどの貧困に苦しむ子どもたちの様子を、できる限り多くの人々に伝えていきます。そして、ひとつでも多くの命を守る努力を続けています。それが「WITH」の使命だと信じているからです。

「WITH」のキャッチフレーズは“Make it for the future”。この言葉を胸に刻み、今後も地球の未来と子どもたちのためにできる活動を続けていきます。

NPO法人 WITH

- 代表者名：橋本 佳幸
- 活動分野：マングローブの植樹、物資支援
- 活動地域：アジア諸国
- 連絡先：
〒504-0913
岐阜県各務原市那加大東町61番地の2
TEL 058-382-3688 FAX 058-389-1201
e-mail：info@with-pj.org
URL：http://www.with-pj.org/
連絡担当者：橋本、竹内